

令和7年度第1回千葉県立中央博物館リニューアル検討懇談会 議事録

- 1 日 時 令和7年7月17日（木）午後1時～午後3時
- 2 会 場 千葉県立中央博物館 会議室
- 3 出席者 委員 林座長、阿児委員、栗原委員、瀬能委員、染川委員
亀田委員（オンライン参加）、駒見委員（オンライン参加）
千葉県庁環境生活部 板倉スポーツ・文化局長、山本次長
山口副参事兼学芸振興室長、小野主幹、
宮川副主査、鈴木技師
現代産業科学館 松田館長（オンライン参加）
関宿城博物館 小田島学芸課長
中央博物館 四柳館長、田中副館長、半澤副館長、伊左治事業部長、
猪野企画調整課長

4 内 容

- 座長及び職務代理の選出について
- 当会議の公開について
- 議 題
 - (1) 令和7年度の事業計画について
 - (2) 千葉県立中央博物館実施計画に基づく外部評価について
 - (3) 新棟建設候補地等について

5 座長及び職務代理の選出について

【小野主幹】

千葉県立中央博物館リニューアル検討懇談会設置要領第4条第2項の規定により、座長が会議の議長を務めることとなっているため、林前座長に進行をお願いしたい。

【林前座長】

千葉県立中央博物館リニューアル検討懇談会設置要領第4条第1項の規定により、座長を互選により選出する。推薦はあるか。

【阿児委員】

前任期に引き続き、林委員に座長をお願いしたいと考える。

【林前座長】

それでは、今期も私が座長を引き受けさせていただく。

【林座長】

千葉県立中央博物館リニューアル検討懇談会設置要領第4条第3項の規定により、当懇談会にあっては、座長があらかじめ指名する者が、座長の職務を代理することとなる。職務代理として駒見委員を指名したい。

【駒見委員】

謹んでお引き受けする。

6 当会議の公開について

【小野主幹】

議題に先立ち、事務局から会議の公開事項について座長にお諮りする。千葉県立中央博物館リニューアル検討懇談会設置要領第5条第3項の規定により、千葉県情報公開条例第8条各号に該当する事項について会議等を行う場合及び会議を公開することにより、公正かつ円滑な会議運営に著しい支障が生じると座長が認めるときは、これを非公開とすることができることとなっている。

議題（3）については、公にすることにより、率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれ、不当に県民の間に混乱を生じさせるおそれ又は特定の者に不当に利益を与え若しくは不利益を及ぼすおそれがある事項が含まれており、千葉県情報公開条例第8条第5号に該当するものである。

ついては、会議内容を非公開とし、会議結果についても千葉県情報公開条例に基づいて開示可能な情報のみを公表することとしてよろしいか、座長にお諮りする。

【林座長】

議題（3）は非公開とすることが妥当だと考える。それでは、議題（1）と議題（2）を公開とし、議題（3）は非公開とする。

7 議 事

【説 明 1】令和7年度の事業計画について（四柳館長）

意見なし

【説 明 2】千葉県立中央博物館実施計画に基づく外部評価について（山口室長）

【瀬能委員】

評価指標の数値の出し方について、わかりやすく定義を示してほしい。例えば、入館者数は入場券を買った人ベースなのか、敷地に入ってきた人全てなのか、研究者のようにバックヤードを出入りする利用者も含めた数なのか、どれかわからない。ウェブアクセス数も何をカウントしているかわからない。トップページだけのアクセス数と入館者数とは相互に関連しているので、一部重複してカウントしてしまうと思う。むしろコンテンツごとの合計の方が重要でないか。レファレンスでは、どのような質問があつて、どのように集計していくのか定義しないと、人によって差が出てしまつて統計的に意味がなくなる。資料の蓄積は、累計も大事だが、年度ごとの数値でないと評価しにくいのではないか。

【四柳館長】

数値の基になっているのは実施計画の過去実績。実施計画の中でどんな数値を拾ったか整理したいと思う。

【亀田委員】

外部評価をする際に自己点検票の内容だけで評価するのか、年報などの他の情報や資料も送ってもらってそれを見ながら実績を比べていくことになるのか。琵琶湖博物館でも計画を立てて自己評価と外部評価をやっているが、自己評価は書けることが限られている。自己点検票だけだと十分に評価しきれない部分が出てくると思う。

【山口室長】

自己点検票を基に評価していただこうと思っていたが、補足や説明が必要という御意見もいただいているので、どのようにしていくかはこれから検討していきたい。

【栗原委員】

亀田委員の意見に賛成。この情報だけで評価するのは難しい。背後に分厚い情報が必ずあるはずなのでそれは見せてほしい。

【栗原委員】

この懇談会の委員で外部評価するということが、ここはリニューアルに向けた博物館の専門家が集まっている。国立科学博物館や自分の関わっている他の機関は、公認会計士や地元の県民や市民といったもう少しバラエティに富んだメンバーが評価委員になっていることが多い。このメンバーでは本当の意味での評価にならないのではないかな。

【山口室長】

評価結果については、よりバラエティのあるメンバーで構成されている千葉県博物館協議会にも報告する予定。

【林座長】

目標値についてだが、細かな活動に対しては大雑把な意見を募るだけでもいいのではないかな。入館者数の目標値についても千人単位ではなく、約何万人というレベルでもいいのではないかな。天候不順の影響などもあるので、あまり細かいことに囚われすぎない方がよい。

【阿児委員】

自己点検から評価までのスケジュールはどのように考えているか。年度が終わってから自己点検して、外部評価を受けて今後の方針を決めるという作業があるので、下手すると半年くらい容易に経過してしまう。時間が経ってしまうと何のための評価がわからない。さらに、評価結果は公表すると思うが、公表時期と公表方法も教えてほしい。

【山口室長】

スケジュールについては、まだ確定したものがあるわけではないが、8月頃には千葉県博物館協議会まで報告したいと思っている。そのため、リニューアル検討懇談会の第1回を7月より前倒しにして実施し、外部評価を行いたいと考えている。公表資料としては、「評価総括票」を想定している。

【阿児委員】

実施計画では運営体制についても4年間の取組が書かれているのに、評価の対象から運営体制の項目が外れている。運営体制を構築することの評価も追加した方がよい。

【山口室長】

検討する。

【瀬能委員】

評価基準が適切かは見直した方よい。例えば、重点事業1の研究の推進と発信の成果が「参加者の割合」となっているが、調査研究や資料収集の成果が展示の理解という項目で評価されるのは違うのではないか。資料収集、調査研究、教育普及の3本柱の評価がうまく表現できていない。

また、重点事業と基盤事業を分けたため、わかりにくくなった部分もある。基盤事業に調査研究や資料収集の成果が入るようになっているが、重点事業で実施した調査研究や資料収集の成果は重点事業と基盤事業とで分けて集計するのか、それとも基盤事業の成果に重点事業の内容もあわせて集計するのか。分けて集計するのだとしたら、重点事業の調査研究や資料収集が浮いてしまっているように感じる。

【山口室長】

評価指標は実施計画で整理したものを使っている。

【瀬能委員】

重点事業のことも基盤事業で拾われて入っていくのであれば納得できるが、そうでないなら、見直す必要がある。

【猪野課長】

実施計画は公表済のものなので、足りない部分は自己点検で補うようにしたい。

【林座長】

貴重な意見をもらっていると思うので、活かしていただきたい。

【駒見委員】

自己点検項目一覧というのがあるが、これは外部に公表されており、外部評価の対象になるのか。

また、自己点検一覧表の財源の確保に、入場料が入っているが、入場料は財源になっているのか。

【栗原委員】

独立行政法人では、収入を館運営に使えるが、県の直営だと稼いでも県の収入となって、館運営に使えないのではないかと。その場合、入場料収入は評価対象にできないのではないかと。自己点検票には入っているが、総括票には入ってこないのは矛盾していないかと。

【四柳館長】

入場料収入は館で使うことはできるが、館の運営費の一部に過ぎない。

【栗原委員】

外部資金の手段等もあると思うが、それがなくて問題ないか。

【四柳館長】

外部資金は研究等でしっかり取れるよう努めている。頂いた御意見を反映させて、指標を検討して次回お示ししたい。

【説 明 3】新棟建築候補地等について（四柳館長）

※公開可能な範囲を抜粋

【阿児委員】

C案の方がスペースや公園内での位置関係がいいと思う。ただ、もっと重要なのは公園全体の在り方ではないか。新棟ができて、図書館・文書館もできるとなると公園の在り方も変わり、県民の公園イメージも変わってくると思う。そういったところの協議はこれからだと思うが、博物館だけでなく、博物館を含んだ公園を目指すとういと思う。

【四柳館長】

公園内の施設の集まる定期的な会議があり、C案を含めて検討していることは共有済み。具体的なことはこれから意見を聞きながら進めていくことになる。

【林座長】

阿児委員の意見に賛成。C案は将来の発展の可能性が非常に高い場所だと思う。NATURAL & SCIENCEの基盤となるインフラがここには揃っている。頑張ってもらいたい。

【栗原委員】

C案がよいと思う。距離が遠いのでコレクションの移動等支障がでる部分をクリアできれば、条件はよい。ちなみに、埋蔵文化財の問題はないか。

【猪野課長】

問題ない。

【栗原委員】

将来的に文化ゾーンとしてたくさん来館者がきてくれるとういのだが、駐車スペースが足りなくなるのではないか、長蛇の列ができた時の周辺住民への影響といったことも今後考えていく必要がある。

【阿児委員】

B案は土地の造成も大変そう。

【山本次長】

B案の方がハンデがあると事務局としても考えている。

【林座長】

当懇談会としては、C案がよいのではという見解でよい。

【委員】

よい。